

シンポジウム

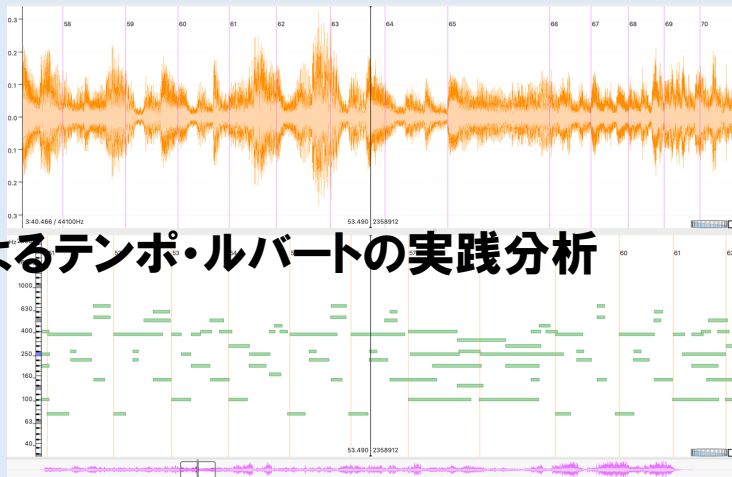
演奏を読む

演奏解析ツールと演奏解析によるテンポ・ルバートの実践分析

音楽情報処理

meets

音楽学



「ルバートで演奏する」とは？

ホロヴィッツやバックハウスらはどのように演奏したのでしょうか。本シンポジウムでは20世紀前半の歴史的録音やピアノロールに残された演奏から、ルバート奏法の実態を明らかにします。また、演奏解析のためのツール開発の最新情報や課題についても国際的な顔ぶれの登壇者が議論を交わします。

2024年12月8日（日）

時間：12:00～（18:00終了予定）

場所：中之島芸術センター「スタジオ」
（大阪大学中之島センター3階）

第1部 演奏解析ツール開発の現在

印藤海翔, 山本邦雄, 尾下真樹（九州工業大学 メディア情報学）
Yucong Jiang（University of Richmond, Computer Science）
Craig Stuart Sapp（Stanford University, Computational Musicology）
中村栄太（九州大学 音楽情報処理）
奥村健太（名古屋国際工科専門職大学 情報工学）

第2部 演奏解析で読み解くテンポ・ルバートの実践分析

鷲野彰子（福岡県立大学 音楽学）
上田泰史（京都大学 音楽学）
高橋舞（日本学術振興会 音楽学）
Hermann Gottschewski（東京大学 音楽学）

コメンテーター：伊東信宏（大阪大学 音楽学）

主催：科学研究費 基盤研究(B)

「20世紀前半の歴史的演奏とピアノロールの演奏解析によるルバート奏法分析」

（2022年～2026年度、研究代表者：鷲野彰子）

助成：日本音楽学会 協力：大阪大学音楽学研究室

お問い合わせ：washino@fukuoka-pu.ac.jp

